

平成29年第1回東大和市文化財専門委員会議
会 議 次 第

日 時：平成29年9月28日（木）

午後10時から

場 所：郷土博物館会議室

1. 委嘱状の交付

2. あいさつ

3. 議 題

- ・ 委員長・副委員長の選出について
- ・ 旧日立航空機(株)変電所について
- ・ 旧吉岡家住宅について
- ・ 平成29年度文化財保護事業について

4. その他

平成 29 年度第 1 回文化財専門委員会議の結果について（要旨）

日 時 平成 29 年 9 月 28 日（木）午前 10 時～11 時 20 分

場 所 東大和市立郷土博物館会議室

出席委員 安島委員、石井委員、加藤委員、小泉委員、中藤委員、樋口委員、藤田委員、松原委員（8 人） 欠席委員 砂田委員、永石委員

事務局 佐伯社会教育課長、坂本郷土博物館長、浜田主任、阿美主事

○社会教育課長あいさつ

1 委嘱状伝達

2 教育長あいさつ代読

委員、事務局職員の自己紹介。欠席委員の紹介

3 議題

・委員長、副委員長の選出について

委員の互選により、委員長、副委員長が選出される。

・旧日立航空機(株)変電所について

事務局から説明（29 年度は現状を把握するための調査委託を行っている。昨年度よりふるさと納税と公開時における募金により、この 8 月末までで 4,088,350 円集まっている。28 年度は 45 回の公開で 8,590 人が来場されたことなど）

委員長：ふるさと納税の返礼品について、どのようなものか。

事務局：熱い思いをご寄附いただくという趣旨で行っており、変電所保存のための返礼品はない。

委員：立飛、昭和飛行機はその後も会社が存続しているが、日立航空機はどうか。

事務局：いくつかの企業に分かれているが、小松ゼノアが跡地を利用していた。

委員：そうした企業にも寄附をしてもらえるといい。

事務局：ゼノアは現在川越に移転している。移転の際には、ゼノアの経費で給水塔の一部を移設してもらった。

委員：市内の戦争遺産と連携した博物館の展示も考えられるのではないか。

事務局：変電所の定例公開と共に 8 月のロビー展示「多摩の戦跡パネル展」を開催している。また 8 月 19 日に行われた平和事業の記念式典では、広島に派遣した中学生の報告や、東大和南高校演劇部の朗読劇も行っている。

委員：変電所だけでなく市内の戦争遺跡について調査をして事業を展開してほしい。

委員：貯水池の中に高射砲跡地などがあるので、それを活用できないか。

委員：防空壕がうちの裏にも残っており、防空壕も穴が埋まってきている。防空壕マップが作れるといい。

委員：芋窪では防空壕をウド栽培に利用している。

委員：小学生対象に防空壕を探そうのような事業にすると、防災教育と合わせた視点も持てる。

委員：芋窪礫層の礫も残っており、防空壕を見ることで狭山丘陵の成り立ちもわかる。

委員：上北台の断層の会は喜んで案内してくれるだろう。

委員長：社会教育と学校教育の連携でやっていくという意見も出たが。

事務局：博物館では年間 100 回以上、ゲストティーチャーとして学校と関わって連携している。今後も、対応していきたい。

委員：雲性寺にある絵図を調査して、文化財指定もしていく必要があるかもしれない。

事務局：今後、調査をしていきたい。

・旧吉岡家住宅について

事務局：平成 29 年 5 月 2 日に登録有形文化財に登録された。5 月 23 日～28 日には、登録記念特別公開を行った。記念式典では市長あいさつ、プレート序幕、建物概要説明、日本女子大学鈴木賢次教授の講演、文化財ボランティアによる文化財ガイドを行った。また、博物館、図書館でも展示を同時開催した。

秋の公開は 10 月 27 日～29 日で、鈴木先生の講演会、箏と尺八による演奏会ほかイベントを考えている。また、記念切手とポストカード、図録も販売する予定である。

委員：お休み処というか、市も観光に力を入れているので地場産のものが買えるとか何か食べられるようなことがあるといい。

委員：本を販売してはどうか。

委員：植生についての保護や、プレートをつけるといいと思うが。

事務局：本の販売については行ったことがあり、木の名札もつけている。遠方から来た方に、狭山茶などお土産に買って行ってほしいという気持ちはある。産業振興課に確認したところ商工会と調整しなければならず、かなり時間がかかるということだった。

委員：親戚の染色家の方の作品と、絵のコラボレーションができれば素晴らしい。

委員：場所がわかりにくいので、幅広く知ってもらえるような工夫を。

事務局：前回の公開には新聞（朝日、読売）、テレビ（東京 MX、JCOM）の取材があり大きな反響があった。

委員：駅からのサイン、ちょこバス車内でのアナウンスなどはどうか。

事務局：サインは公開日当日は手作りのものを 10 枚以上つけている。長屋門前には多言語標記の解説看板があり、公開していないときでも立ち止まって見て行く人もいる。今後は登録有形文化財となったことを示す看板を公開前までに設置する。

・平成 29 年度文化財保護事業について

事務局：資料説明（変電所公開、吉岡家特別公開、吉岡家現有物調査、ポスト

カード、図録の作成、調査、補助など)

委員長：図録について、販売価格はいくらを考えているか。

事務局：原価で 500～600 円になるのではないか。

・その他

特になし。

委員長：それでは閉会とします。

● 旧日立航空機機変電所特別公開

うまかんべえ～祭に伴う公開では、写真パネルや実物資料を展示し、東大和市史などの書籍を販売した。平和市民のつどい開催前後（8月16～20日）には、パネル展示や戦争体験映像記録の上映などを行い公開した。＊は主催による公開

期日	行事名	入場者
4.9	文化財ボランティアによる定例公開＊	153人
	第5回うまかんべえ～祭り特別公開＊	3,881人
	立川市公民館主催事業	18人
5.14	文化財ボランティアによる定例公開＊	144人
5.20	学びあい支えあう会	10人
6.11	文化財ボランティアによる定例公開＊	134人
6.16	生活協同組合りんごのきもち平和・復興応援委員会	4人
7.8	イモゾーツアー（九小学区イベント）	61人
7.9	文化財ボランティアによる定例公開＊	133人
7.13	東京土建見学会	16人
7.21	東大和・東村山広島派遣中学生事前平和学習会	15人
7.23	原水爆禁止国民平和大行進	30人
7.25	東大和市学習指導法研修会	16人
	立川市立小学校教育研究会社会科部研修会	20人
	武蔵村山市秘書広報課	30人
	吉川市平和事業	18人
	平成29年度東大和市教育委員会初任者宿泊研修	20人
8.13	文化財ボランティアによる定例公開＊	143人
8.16～20 (8.19)	文化財ボランティアによる特別公開＊ 平和市民の集いに伴う公開＊（264人）	527人
9.7	東大和市立第四小学校6年生社会科授業	76人
9.10	文化財ボランティアによる定例公開＊	125人
9.13	電友会	29人
9.16	パルシステム他	45人

● （仮称）東大和郷土美術園

（1）特別公開

① 登録有形文化財旧吉岡家住宅登録記念特別公開

開催日	5.23（土）～28（日）	開催時間	午前10時～午後4時 （23日のみ午後1時～）
来場者	892人		
文化財ガイド	文化財ボランティアによる建物の解説を随時開催した。 延べ131回開催、参加者474人		

記念講演会	5月27日（土）午後1時30分～3時30分 講師 鈴木賢次（日本女子大学名誉教授） 参加者 73人 内容 旧吉岡家住宅の特徴や、文化財としての価値についての解説
物品頒布	吉岡堅二記念切手 930円＊37シート
展示作品	「溪谷」1点を展示した。今回は建物を登録記念公開のため、作品展示は1点にとどめた。

② 秋の特別公開

開催日	10.27（金）～29（日）	開催時間	午前10時～午後4時

（2） 吉岡堅二現有物調査

吉岡堅二資料の内、工芸品、写真フィルム、書籍などについて、専門家の指導のもと博物館職員と美術大学卒業生（学芸員有資格者）、学生が調査を行っている。

（4） 吉岡堅二ポストカードの作成・販売

旧吉岡家住宅の登録有形文化財に登録されたことを記念し、ポストカードを作成、9月16日から販売した。

製作数 500部

売払額 400円

販売場所 郷土博物館窓口他

（5） 吉岡堅二図録の作成・販売

旧吉岡家住宅の登録有形文化財に登録されたことを記念し、図録を作成。

製作数 800部

売払額 円

販売場所 社会教育課、郷土博物館

● 調査・研究

（1） 古文書調査

市民から寄贈を受けた古文書（大正～昭和初期）の整理及び目録作成を委託により実施した。

（2） 里正日誌の活字本刊行事業

市指定文化財「里正日誌」活字本について、8冊目となる第一巻（天正～延享）を刊行。

また、次年度刊行予定分の第二巻（寛延～天明）について、解説作業を実施。

（3） 資料収集

農具や日常の生活用具など、都市化の波による破壊・散逸の危機にさらされている生活文化財の収集に努めた。

(4) 博物館資料のくん蒸

博物館及び生活文化財保存庫（第一中学校敷地内）に保存されている資料を、虫食いやカビの被害から守るため薬剤（アルプ）によるくん蒸を実施した。

博物館くん蒸室 6.11～6.16 実施／生活文化財保存庫 8.12～8.18 実施

(5) 埋蔵文化財の立会・試掘調査等

① 試掘・確認調査

開発工事に伴い、埋蔵文化財の状況を確認するための発掘調査。該当なし。

② 土木工事に伴う届出

文化財保護法第 93 条の規定による届出を受理し、遺構保護のための指導を行った。

遺跡名	届出地	工事内容	処理内容
No.59 遺跡	芋窪 4 丁目	個人住宅	立会調査
No.66 遺跡	清水 4 丁目	電柱工事	慎重工事
No.72 遺跡	狭山 4 丁目	個人住宅	立会調査
街道内遺跡	中央 1～3 丁目	道路工事	慎重工事
廻田谷ツ東遺跡	湖畔 1 丁目	土留工事	慎重工事

● その他

① 文化財保護・保存団体への補助

郷土芸能の保護・保存及び継承を図っている団体に補助金を交付した。

団体名	補助金額	補助の対象となる活動
清水ばやし保存会	48,000 円	囃子の継承及び後継者の育成と道具・衣装の保存
高木獅子舞保存会		道具・衣装の保存
狭山ばやし保存会		道具・衣装の保存
芋窪囃子保存会		囃子の継承及び後継者の育成

② 東京都指定文化財豊鹿島神社本殿防災工事に伴う補助

落雷事故により破損した防災用ポンプ室の改修工事に伴う補助を交付した。